



常陸大宮市



# 広報 常陸大宮

2023  
1  
No.220

豊かな自然の中で育った奥久慈いちごを召し上がれ。

## 主な内容

P2~3 新年の挨拶

P4~6 奥久慈いちごの季節がやってきた!

P8~9 令和4年に叙勲・褒章を受章された皆さん

P10 第7回常陸大宮大賞決定



常陸大宮市長  
鈴木 定幸

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、令和5年の輝かしい新春をご家族おそろいで、健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、旧年中の温かいご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

振り返りますと本市において令和4年は、新総合計画のスタートの年であると同時に、私が一貫して掲げる「人口流出を防ぐダム」を構築するための政策プロジェクトがスタートした年でもありました。

令和5年におきましても、市の最重要課題であります「人口減少・少子化対策」に重点を置いた政策を展開するとともに、「常陸大宮市重点政策」として設定した三つの柱を積極的に推進していく所存であります。

特に、一つ目の柱となる「若者・女性が住みやすく、子育てしやすいまちの実現」では、私の政策の一丁目一番地と位置付けております「常陸大宮駅周辺整備事業」が、目に見える形で工事に着手するほか、子育ての相談、支援が必要な家庭や発達気になる子供に対し、社会において自立できるまで切れ目ない支援を行っていくことを目的とした「こどもセンター」を昨年新たに設置いたしました。今年はその本格運用を開始するとともに、ノウハウや知見の蓄積に努めていきます。また、本市では、体外受精及び顕微授精などによる不妊治療を行なった夫婦に対し、茨城県内で唯一の全額助成を行っており、それを機に、令和3年度から9組の夫婦が本市へ転入されました。本年も引き続き、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図っていきます。さらに本年は、新たに「子育て世帯向け住宅」の整備も手がけ、若者や女性、さらには子育て世帯が居住しなくなる、ストレスフリーでお洒落なコンパクトシティの形成を目指していきます。

二つ目の柱となる「学力向上にコミットする教育の推進」につきましては、現在導入しているAI型学習支援ドリルソフトの活用を継続するとともに、児童生徒の学習進度に合わせて学べる環境と、塾などへ通うことの困難な地域・環境の教育格差を解消するため、昨年導入したICT端末を利用した講義動画を活用するなど「確かな学力」育成プロジェクト事業を推進していくほか、市内小中学校の校舎及び体育館の照明をLED化し、子供たちの学習環境を改善するなど、今後とも結果に拘る公教育の実現に向けて努力していきます。

そして、三つ目の柱となる「観光を軸とした地域振興」につきましては、昨年から運用開始した御前山ダムの湖面利用を促進するとともに、市内の既存施設であるパークアルカディアを民間事業者と連携しながらリニューアルすることにより魅力を高めるなど、新たな観光施設の開発を進め、新しいアウトドアアクティビティの場を提供していきます。さらに、本年3月に全面人工芝化が終了する大宮運動公園市民球場では、来年度中に県内で二番目となるフルスクリーン付き人工芝の市民球場が完成することから、野球に止まらず、グラウンドゴルフやフットサルなど、多面的な利用を図ってまいります。

この他にも、子供の食の安全を担保するべくオーガニック学校給食実現に向けた有機農業の推進をはじめ、本市の課題を的確に精査し、常陸大宮らしさを大事にしながら、市民生活の向上と誰もが安心して住み続けたいと思える常陸大宮市の実現に向けて邁進してまいりますので、市民の皆様方をはじめ、関係機関・団体の皆様方には、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 新年の挨拶



常陸大宮市議会議長  
武石 寿長

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、市議会に対しまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、冬季北京オリンピックでの日本選手団の躍進によりメダル獲得数が過去最多となったことや、サッカーワールドカップで日本代表チームが強豪国を破り、世界に日本サッカーの進化を示すなど、スポーツ界では明るい話題が多くありました。反面、2月には、ロシアによるウクライナ侵攻という世界を震撼させるニュースが飛び込んできました。その影響は、原油や原材料価格の高騰を招き、私たちの家計や企業経営等を大きく圧迫するなど、多方面に及んでおります。

また、新型コロナウイルス感染症につきましては、拡大と収束を繰り返し長期化する中、ウイルスと共存する社会へと変わりつつあります。まだまだ出口の見えない状況にありますが、今まで止まっていたものを前進させ地域の生活と経済を回していかなければなりません。

本市では、昨年3月に新たに策定した常陸大宮市総合計画(ひたちおおみや未来創造ビジョン)に基づき、常陸大宮市に「住みたい」、常陸大宮市で「育てたい」、常陸大宮市に「来たい」をテーマとして、常陸大宮駅周辺整備事業や子育て教育環境の充実などが進められており、この取り組みが人口流出を防ぐダムとなることを期待し、議会としても役割と責任をしっかりと自覚し、ご期待に応えるよう全力を尽くしてまいります。

また、本市議会におきましては、昨年7月に、4年に一度の改選があり、新たな体制の下で始動いたしま

した。私も議長に就任して4か月が経過しますが、市民の皆様の幸せのために、なお一層の努力をしてみたいと決意を新たにしております。

今、市議会では、市民に開かれた議会と活性化を図るため議会改革推進特別委員会を設置し、デジタル技術を活用した議会運営や危機管理体制の構築、そして、多くの人々の議会への参画など、これからの議会はどうあるべきかを議論しております。また、市議会基本条例に基づき実施しています議会報告会でございますが、新型コロナウイルスの影響から残念ながら昨年も開催することはできませんでした。二元代表制の一翼を担う議会として、市民の皆様の多くの声や意見を聞く機会を設け、政策立案や提言に繋げていける議会を目指してまいります。

令和5年は「卯年」であります。卯(うさぎ)は、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。常陸大宮市も多くの課題を抱えていますが、今年は、飛躍や向上に繋がる年となるよう、市議会も一丸となって誠心誠意尽力してまいります。

結びにあたり、新しい年が皆様にとって、笑顔が溢れる実り多き年になりますよう心より祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

特集

# 奥久慈いちごの季節が やってきた！

常陸大宮市のいちごは、「奥久慈いちご」として常陸大宮さん（産）認証を受けている市を代表する農作物の一つで、12月から5月にかけて出荷されます。

豊かな自然環境のなかで丹精込めて作られたいちごは濃い甘みと実の美しさが自慢です。茨城県オリジナル品種「いばらキッス」・「ひたち姫」はもちろん、自家交配したオリジナル品種など常陸大宮ならではのいちごを楽しむことができます。

また、茨城県いちご経営研究会が年に1度行う審査会「茨城いちごグランプリ」で市内農家が大賞、金賞を受賞しました。糖度や形、色など総合的な品質検査でも高い評価を受けています。

## 常陸大宮市で栽培されている品種



### いばらキッス

茨城県オリジナル品種。酸味と甘味のバランスが良く、濃厚な味わい。バランスの良いいちごを味わいたい方におすすめ。



### とちおとめ

栃木県オリジナル品種。甘味が強く、酸味とのバランスが良い。認知度の高い定番の人気品種。



### おいCベリー

九州生まれの7粒で1日分のビタミンCが取れるいちご。しっかりとした甘さの後にすっきりとした酸味が広がります。



### ひたち姫

茨城県オリジナル品種。酸味が少なく、甘味が強い。さっくりとした食感が特徴。やわらかくて甘いちごが好きの方におすすめ。



### やよいひめ

群馬県オリジナル品種。甘味が強く、まろやかな酸味。果肉が硬めで日持ちがよく、「やよい(3月)」の名のとおり、暖かい時期も安定した味です。

他にも、白い見た目が特徴の「エンジェルエイト」、生まれも育ちも常陸大宮の「京虹」<sup>きょうこう</sup>などが栽培されています。

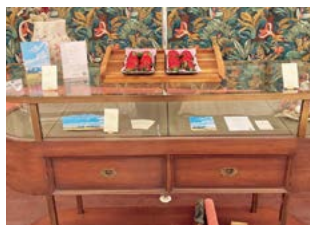
# 第10回『茨城いちごグランプリ』

## 大賞・金賞 受賞農家インタビュー

### 『一般の部』金賞 彦田 真吾さん・結衣さん



「香りを最大限に引き出した本当に美味しいいちごを作りたいです」と語るのは、彦田真吾さん。商社の営業職として働く中、茨城県内のいちご農家と出会ったことがきっかけで、自分でもいちごを作りたいと脱サラ。県内で就農地を探し中、常陸大宮市との縁ができ、2021年に就農しました。彦田さんが現在栽培するのは、いちご農家を志すきっかけとなった農園が栽培していたのと同じ「とちおとめ」のみ。「とちおとめ」の香りを高めようと日々いちごと向き合っています。また、外国へ来たかのような雰囲気が漂う、ハウス隣の敷地では、ヤギとヒツジの飼育をスタートし、将来的にはイチゴと掛け合わせて乳製品の販売などにも取り組んでいきたいそうです。



◀結衣さんこだわりのいちご直売コーナー。蚤の市などで見つけたアンティーク家具や雑貨が並び、おしゃれであたたかな雰囲気広がっています。

#### hiko farm

常陸大宮市三美 259-2

電話 080-3706-1583

営業時間 13:00～16:00 (日曜日・祝日定休)

栽培品種 とちおとめ



### 『いばらキッスの部』大賞 <sup>かんの</sup>菅野 大志さん・久美子さん

「『いちご屋』としてこれから先もいちごを扱うプロでありたいです」と語るのは、菅野大志さん。自営業を考える中、長女の誕生をきっかけに、将来を模索。知り合いが農業で生計を立てていることを知り、いちご農家の道を志したといいます。「農業人フェア」への参加によって、茨城県や常陸大宮市と出会い就農。2011年に直売所をオープンしました。「茨城県産のいちごを作り、お客様に選ぶ楽しみを提供したい」という想いから常陸大宮市生まれの京虹など6品種を栽培しています。屋号に「いちご園」を掲げ、農家の立場だけでなく「いちご屋」として「おひさまのいちご Bar」も営業する菅野さん。これから先もこの場所で「おひさまのいちご園」を続けることが大切だと語ってくださいました。



#### おひさまのいちご園

常陸大宮市野口 2550

電話 0295-55-4415

営業時間 13:00～17:00 (不定休)

栽培品種 とちおとめ、いばらキッス、おいCベリー 他



◀オフシーズンには「おひさまのいちご Bar」の営業やイベント出店行い、新鮮なうちに冷凍されたいちごを使ったスムージーやいちご割りなどを提供しています。

この記事のインタビュー・原稿作成は、地域おこし協力隊で情報発信を担当する谷部文香さんが行いました。紙面には載せきれなかったインタビューの内容を協力隊 HP で順次公開予定！右の二次元コードを読み取って、ぜひご覧ください！



おいしい奥久慈いちごがたくさん！

# 常陸大宮市 奥久慈いちご直売所マップ

(販売時期 12月～5月頃)

**白土農園**  
常陸大宮市野口 2507-1  
電話 0295-55-2416  
営業時間 9:00～18:00 (無休)  
栽培品種 とちおとめ、いばらキッス

**藤田いちご園**  
常陸大宮鷹巣 739  
電話 0295-53-3300  
営業時間 9:00～17:00 (無休)  
栽培品種 とちおとめ、ひたち姫、やよいひめ

**mommy farm**  
常陸大宮市辰ノ口 2635  
電話 080-5342-9803  
営業時間 10:00～17:00 (不定休)  
栽培品種 ひたち姫、やよいひめ

**おひさまのいちご園**  
※いちご狩りあり

**つづく農園**  
常陸大宮市野口 2563-1  
電話 0295-55-3040  
営業時間 10:00～17:00 (不定休)  
栽培品種 とちおとめ、いばらキッス、  
ひたち姫 他  
※いちご狩りあり

**たつのくち農園**  
常陸大宮市辰ノ口 1347  
電話 090-4741-9854  
営業時間 10:00～17:00 (水曜日定休)  
栽培品種 いばらキッス

**hiko farm**

**いちご BOX 早川農園**  
常陸大宮市野中町 3063-1  
電話 0295-53-6060  
営業時間 10:00～18:00 (無休)  
栽培品種 ひたち姫

**いちご BOX**  
常陸大宮市下村田 345  
電話 0295-51-3254  
営業時間 10:00～16:00 (月・木曜日定休)  
栽培品種 ひたち姫  
※いちご狩りあり

## いちご園直売以外での販売

### 道の駅常陸大宮～かわプラザ～

常陸大宮市岩崎 717-1 電話：58-5038

### グリーンハウス大宮

常陸大宮市若林 1832-16 電話：53-5132

## 就農希望者・新規農業従事者を応援！

## 農業関係支援のご紹介

市役所農林振興課では、就農希望者、新規農業従事者を中心に、支援相談受付や、国・県の支援窓口として、サポートを行っています。相談者一人一人に合わせた支援を提案いたします。まずはお気軽にご相談ください。

### ■問い合わせ■

農林振興課農業畜産グループ 電話：52-1111 (内線 202・206)

### 【支援の一例】

- 就農相談
- 農業制度資金
- 農地確保
- 農地借り手助成金  
など



◀新規就農希望の方は、常陸大宮市 HP「新規就農支援について」もご覧ください。

# のばそう 健康寿命！ 各地域で介護予防教室を開催しました

## 「あつま～れ～」

介護予防のための教室「あつま～れ～」を大宮地域の第7区（北町）、岩崎区、鷹巣区（大阪平）、美和地域の高部区、御前山地域の下伊勢畑区で実施し、運動と栄養、口腔機能低下予防の講義を7回に分けて行いました。

最終日に行った体力測定結果では、全員が初回測定より、体力が向上していました。参加された皆さんからは、「楽しく体と頭を使うことができた」「専門家による体の動かし方、姿勢の保ち方など、日常生活で注意する点など多くアドバイスがあってよかった」などの声が寄せられました。



▲大宮地域第7区の様子



▲大宮地域岩崎区の様子



▲大宮地域鷹巣区（大阪平）の様子



▲美和地域高部区の様子



▲御前山地域下伊勢畑区の様子

あなたの地区でも  
介護予防教室を開催しませんか？

詳しくは長寿福祉課に  
お問い合わせください。  
電話：52-1111(内線172)

## 「元気アップ教室」

後期高齢になったときに要介護状態にならないよう、前期高齢の段階から転倒骨折予防や日常生活で必要とされる運動機能の向上を目的として、「元気アップ教室」を御前山地域センターで実施しました。9月から12月までの全10回、22名の方がボールやストレッチポールなどを使って、バランス能力運動を行いました。

体力測定では、初回測定より体力の向上が見られました。



▲リハビリボールを使った足上げ運動



## 1/5 新年賀詞交歓会を開催

恒例の新年賀詞交歓会を市文化センターで開催しました。開会に先立ち、アトラクションとして、社会人落語家 二松亭ちゃん平さんによる落語が行われ、新春の初笑いとなりました。

賀詞交歓会では、市長あいさつに続き、来賓あいさつ、続いて叙勲受章者への記念品贈呈、自治功勞者表彰、高額寄附者への感謝状贈呈のほか、第7回常陸大宮大賞の表彰(10ページ参照)を行いました。

《常陸大宮市表彰条例による自治功勞表彰者》

元市議會議員 金子 卓 さん

また、会の最後には、12月に開かれた「全国高校生花いけバトル茨城大会」を勝ち抜き、全国大会の切符を手に入れた県立小瀬高等学校生徒による花いけバトル競技の実演が行われ、規定の5分間で完成した生け花に大きな拍手が贈られました。



▲小瀬高校の岡崎諒さん(3年)と桑名真緒さん(3年)による「花いけバトル」の披露の様子

## 令和4年に

■瑞宝双光章

岡崎 岑夫 さん

(教育功勞)

昭和32年に常澄村立稲荷第一小学校(現水戸市)に奉職後、平成6年に水戸市立新荘小学校長として退職されるまで長きにわたり熱意にあふれた指導を行い、児童の学力向上や地域社会の発展に尽力されました。また、茨城県校長会中央ブロック校長会連絡協議会長として、教育の現状に対する深い理解と識見を生かし、茨城県の学校教育の振興にも寄与されました。



■黄綬褒章

平塚 たま代 さん

(看護業務功勞)

平成8年から現在まで社会福祉法人若葉会特別養護老人ホームみのり園に看護師として勤務され、長きにわたり入所者の健康管理全般に尽力されています。常に入居者の立場に立ち、可能な限り居宅生活へ復帰させることを念頭に、豊富な経験と知識を生かし、質の高い看護サービスの提供に努められるなど、高齢者福祉の向上に貢献されました。



■瑞宝双光章

神賀 穰一 さん

(教育功勞)

昭和32年に大子町立宮川中学校に奉職後、市内では大宮中、美和中、大宮第一中、大宮第二中学校に勤務されました。平成7年に大宮町立第二中学校長として定年退職されるまで長きにわたり、教員として情熱と真心を持って、生徒の学力・体力の向上や生徒指導、地域に根ざした学校づくりに専心され、学校教育の発展に貢献されました。



■瑞宝小綬章

綿引 義久 さん

(地方自治功勞)

昭和48年に茨城県に奉職後、総務部企画監、高齢福祉課長、総務部出資団体指導監、企画部次長、総務部理事兼行財政改革・地方分権推進室長、会計管理者などの要職を歴任され、長きにわたり地方自治の発展に貢献されました。また、平成23年の退職と同時に常陸大宮市副市長に就任され、豊かな行政経験と卓抜なる識見をもって行政運営に大きく寄与されました。





# 叙勲・褒章を受章された皆さん(順不同)

## 瑞宝双光章

**軍司 藤雄** さん  
(郵政事業功勞)

昭和30年に事務員として千葉県市川郵便局に奉職され、小瀬郵便局局長代理を経て、平成7年に美和郵便局長として退職されるまで、長きにわたり職務に奮励されました。郵政事業の重要性を深く認識し、業務知識の取得やお客様への適切な対応に努めました。また、郵便局長として、部下の育成にも尽力するなど、郵政事業の発展に貢献されました。



## 瑞宝双光章

**小林 修** さん  
(教育功勞)

昭和31年に水府村立染和田中学校(現常陸太田市)に奉職後、市内では大宮第一中学校、大宮小学校、檜沢小学校に勤務されました。平成6年に瓜連町立瓜連小学校長(現那珂市)で退職されるまで長きにわたり、明確な教育理念と広い識見を持ち、児童生徒の健全育成に尽力され、また、教育研修センター勤務の経験を生かし、教職員の指導力の向上にも貢献されました。



## 瑞宝単光章

**吉田 寛** さん  
(防衛功勞)

昭和44年に航空自衛隊に入隊、平成17年に准空尉として退職されるまで、長きにわたり国家防衛の重要性を認識し、領空防衛に精励、終始誠実かつ積極的に職務を遂行されました。主に警備技術員として、基地の警備業務に昼夜を問わず自発的に奮励、また部隊の任務遂行のため隊員指導や上司の補佐に努めるなど、航空自衛隊の充実発展に貢献されました。



## 瑞宝単光章

**篠根 俊英** さん  
(郵政事業功勞)

昭和49年に郵政事務官として奉職され、令和3年に日立郵便局集配営業部副部長として退職されるまで長きにわたり職務に精励されました。在職中は主に郵便外務事務に従事され、郵便事業の社会的重要性と公共的使命を深く認識し、郵便物を正確かつ迅速に配達するため、業務に奮励して、郵政事業の発展に貢献されました。



## 瑞宝双光章

**菊地 美代治** さん  
(教育功勞)

昭和30年に鹿島町立豊津小学校(現鹿嶋市)に奉職後、市内では檜沢小、沼富野小、盛金小、北富田小、野上小、長田小学校に勤務されました。平成7年に大子町立池田小学校長で退職されるまで長きにわたり、心身共に健全な児童生徒の育成に尽力されました。また、体験を重視した教育の実践により、地域振興にも多大な貢献をされました。



## 瑞宝双光章

**宮本 博行** さん  
(警察功勞)

昭和43年に三重県巡査として奉職以来、平成22年に三重県警察本部刑事部鑑識課を警視で退職されるまで、長きにわたり警察職務に精励されました。在職中は主に刑事部門で活躍され、詐欺、横領等の知能犯罪や選挙違反取締り等を担当し、豊富な経験と強い正義感を持って数多くの事件を検挙・解決され、公共の安全と治安の維持のため多大な貢献をされました。



## 瑞宝単光章

**内田 健一** さん  
(国勢調査功勞)

昭和55年以来、9回にわたり国勢調査に調査員として従事されました。また、農林業センサス8回、茨城県農業基本調査9回など数多くの統計調査にもあたられ、常に円滑かつ正確に調査を遂行して統計業務の推進に貢献されました。さらに消防団員として長きにわたり地域防災に尽力されたほか、農業委員会委員を14年間務めるなど、農業発展にも尽力されました。



## 旭日単光章

**杉山 静** さん  
(地方自治功勞)

昭和54年から平成11年まで長きにわたり大宮町議会議員として、町の発展に寄与されました。その間、議会副議長、議会運営委員会委員長、文教厚生常任委員会副委員長等の要職を歴任され、町議会の円滑な運営に努めるとともに、大宮農村環境改善センターの設置に尽力するなど、地方自治の発展と地域住民の福祉向上に貢献されました。



※受章者のうち、掲載の承諾を得られた方についてご紹介しています。(死亡叙勲を除く。)

# 第7回 常陸大宮大賞決定

本市の知名度・イメージを向上させ「元気なまち常陸大宮づくり」につながる取り組みを行っている個人・団体を表彰する「常陸大宮大賞」の第7回目の受賞者が決定しました。

本年度の受賞者は、全国規模以上のスポーツ大会に出場し、市民に活力と元気を与えるすばらしい成績を収められた次の3名の方々です。受賞者には、1月5日の「令和5年新年賀詞交歓会」の席上で、鈴木市長から西の内紙で作られた賞状と市産材のケヤキに奥久慈漆が塗られた記念のカップが手渡されました。

3名の皆さん、受賞おめでとうございます。



▲(前列左から)仲田 光穂さん、鈴木市長、中郡 陸さん、坪井 優奈さん  
(後列左から)仲田さん推薦者の仲田 真依子さん、小野教育長、武石市議会議員長

受賞者氏名 (敬称略)	主な功績
	詳 細
なかた みほ 仲田 光穂 (市内出身)	<p>第31回IAU100km世界選手権大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体 銅メダル</li> <li>・個人6位(日本人トップ)</li> </ul> <p>8月にドイツで開催された100kmを走るウルトラマラソンの世界選手権に日本代表として出場し、各国の上位3人の合計タイムで争う女子団体で銅メダルを獲得。個人でも日本勢最高位の6位入賞という輝かしい成績を収めました。</p>
ちゅうぐん りく 中郡 陸	<p>第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ国体」陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・200m 第1位(大会新記録)</li> <li>・100m 第1位</li> </ul> <p>栃木県で開催された「全国障害者スポーツ大会」陸上競技に茨城県代表として出場し、100m・200mの2種目で、どちらも第1位という輝かしい成績を収めました。</p>
つばい ゆうな 坪井 優奈	<p>第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ国体」フライングディスク競技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アキュラシーディスリット・ファイブ 第2位</li> <li>・ディスタンスレディース・スタンディング 第2位</li> </ul> <p>栃木県で開催された「全国障害者スポーツ大会」フライングディスク競技に茨城県代表として出場し、アキュラシー(ディスクを輪の中に入れる競技)とディスタンス(距離を競う競技)の2種目で、どちらも第2位という輝かしい成績を収めました。</p>

## 市議会定例会開催

令和4年第4回常陸大宮市議会定例会が、12月6日から12月21日まで開会されました。この定例会では、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、それぞれ可決されました。

### 条例

- 常陸大宮市個人情報保護法施行条例
- 常陸大宮市行政組織条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例
- 常陸大宮市税条例等の一部を改正する条例
- 常陸大宮市上水道事業給水条例等の一部を改正する条例
- 常陸大宮市御前山青少年旅行村の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市奨学資金等貸与条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市社会体育施設条例及び常陸大宮市都市公園条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市消防団員の定員，任免，給与，服務等に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

### 令和4年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算・特別会計(4会計)補正予算、上水道事業会計補正予算、下水道事業会計補正予算

### その他

- 市道路線の認定について
- 市道路線の変更について
- 指定管理者の指定について（おおみや広域聖苑）
- 指定管理者の指定について（常陸大宮市御前山青少年旅行村・常陸大宮市三王山自然公園）

## 義務教育施設適正配置審議会 教育委員会へ答申書提出

少子化が進む中で、令和4年11月22日に開催された「第7回常陸大宮市義務教育施設適正配置審議会」において、「常陸大宮市義務教育施設の適正規模に関する基本的な考え方及び適正化に向けた方策」の答申書が、同審議会の野上公雄会長から小野教育長へ手渡されました。

答申では「新たな学校再編は当分の期間は行わず、教育委員会の指揮のもと、児童生徒、保護者、地域住民及び学校が連携・協力しながら、現状の小学校11校、中学校4校による学校運営を適切に行い、成果をできる限り大きくしていく対応をすること」とした上で、将来的な学校再編や人口減少対策などの付帯意見が盛り込まれました。



10/31

## 青少年相談員として尽力した 6名が県から表彰

茨城県青少年相談員研修大会が茨城県庁で開催され、本市青少年相談員としてご活躍された6名が表彰されました。表彰された皆さんは、児童生徒の登下校時の見守りや不審者対応、街頭相談などに積極的に取り組み、長きにわたり青少年の健全育成にご尽力されました。

### 【表彰された皆さん】

#### ○知事ほう賞

和泉 正典

(御前山支部 / 在職期間20年 / 支部長・副支部長歴任)

宮田 則子

(緒川支部 / 在職期間16年 / 副支部長歴任)

#### ○功労者表彰

間瀬 修 (大宮支部 / 在職期間12年)

薄井 登 (美和支部 / 在職期間10年)

小田倉 恵津子 (大宮支部 / 在職期間10年)

関澤 美代子 (御前山支部 / 在職期間8年)

11/26

## 第18回「青少年をたたえる 市民のつどい」開催

青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を高める目的で毎年開かれている「青少年をたたえる市民のつどい」が、常陸大宮市文化センターで開催されました。

式典では、市内小・中学校から応募された青少年の主張作文254点の中から、優秀賞6名、会長奨励賞9名が表彰され、優秀賞を代表して3名が作文発表を行いました。また、日頃から青少年の健全育成に尽力した方や青少年育成常陸大宮市民会議功労者が表彰されました。



▲受賞者の皆さん

11/20

## 日野市とスポーツ交流事業

東京都日野市にある市民の森ふれあいホールで、日野市の子供たちとミニバスケットボールによる交流会を行いました。日野市とは、本市に日野自動車テストコースがあることが縁で交流事業が始まり、今年、交流開始から10年の節目の年を迎えました。

常陸大宮市から約50名、日野市から約60名が参加した今回の交流では、交流試合やフリースロー大会を行い、スポーツを楽しみながら交流を深めました。



▲日野市交流事業に参加した皆さん

11/28

## 小瀬高校で行政相談出前教室 実施

小瀬高等学校3年生を対象に、行政相談委員による出前教室が行われました。

「よりよい社会づくり」をテーマとしたワークショップでは、「通学路の草木が邪魔で歩きづらい」、「マンホール周りの道路が陥没している所があり危険だ」など、地域で困っていることについて各グループから多くの意見が挙げられました。

参加した生徒たちからは、「行政相談について分かりやすく学べた」、「自分の住む地域について考える良い機会になった」などの感想がありました。



▲行政相談の仕組みを説明する様子

12/4

## 第14回文書館カレッジを 開催

第14回文書館カレッジ「室町・戦国時代の茂木氏と茂木保」を開催しました。

石巻市博物館学芸員の泉田邦彦氏を講師に迎え、栃木県茂木町と常陸大宮市の一部を支配していた茂木氏の歴史、茂木氏の家臣で檜山地区などを領有した檜山氏に関する分析、野田・長倉地区など旧国境地帯における茂木氏と佐竹氏の関わりなどについてお話をいただきました。

次回は令和5年度の開催を予定しています。



▲石巻市博物館学芸員の泉田邦彦氏を講師に迎え、茂木氏の歴史を学びました。

12/4

## 第13回国際交流フェスティバル 開催

第13回国際交流フェスティバル～広げよう！歌って踊って交流の輪～（主催：市国際交流協会）がおおみやコミュニティセンターで開催されました。イベントでは、押し花講座、風呂敷包み方講座などのワークショップや、弥七太鼓の演奏、抜刀演武、海外出身者によるスピーチや合唱などのステージ発表が行われました。

様々な国の文化に触れ、海外出身者と市民の交流を深めるイベントとなりました。



▲海外出身者による似顔絵講座の様子

12/10

## 第39回茨城県民駅伝競争大会 常陸大宮市チームが健闘

ひたちなか市の笠松運動公園で開催された第39回茨城県民駅伝競争大会に常陸大宮市から各部合計3チームが出場しました。市町村対抗の部では6区を走った矢板慈生選手が、8分52秒で区間賞に輝きました。

### ○市町村対抗の部

（1人3kmで6区間：参加15チーム）

常陸大宮市チーム 9位（1時間2分48秒）

矢板慈生選手 第6区区間賞（8分52秒）

### ○クラブ対抗の部

（1人3kmで5区間：参加31チーム）

大場体協 10位（55分23秒）

村石体協 26位（1時間5分29秒）



▲6区区間賞 矢板 慈生 選手

12/13

## 地域ケア会議 2年半ぶりの開催

初の試みとなるオンライン参加・会場参加のハイブリット形式で地域ケア会議を開催し、医療職、介護職、民生委員など合わせて95名が参加しました。

今回の会議では、教育現場、消防、介護福祉施設、薬局、病院、ケアマネジャーの各専門職種の立場での「新型コロナウイルス感染症に関する現場での対応と課題」について、質疑応答を交えて情報共有を図りました。



▲会議の様子

12/17,18

## 常陸大宮市スケート教室

笠松運動公園山新スイミングアリーナ 屋内アイススケート場で、市内小学生4～6年生を対象としたスケート教室を開催しました。

2日間で55名の児童が参加し、靴のはき方や立ち方・転び方などの初歩的な内容や、滑り方のコツを学びました。転倒を繰り返しながらも、すぐに上達し、最後の自由滑走では、楽しくスイスイと滑ることができました。



▲滑り方の基本を練習している様子

12/20

## 那須烏山線バイパス 一部区間 通行可能に

下檜沢地区内「主要地方道常陸大宮那須烏山線バイパス整備」において、片根橋を含む約400m区間の通行が可能になったことに伴い、交通安全祈願式が開催されました。

整備事業区間約1.5kmのうち、これまでに整備が完了している区間を含め約1kmが通行可能となり、地域交通の円滑化と利便性の向上により、地域間交流の促進と地域経済の活性化が期待されます。



▲交通安全祈願式の様子

## 善意をありがとう



大宮地区民生委員の皆様  
ふるさと祭り大宮 ふれあい広場  
チャリティーバザー売上のうち35,000円  
(奨学基金へ)



明治安田生命保険相互会社様  
「私の地元応援募金」  
104,000円



横田 文雄様  
100,000円  
(こどもセンターへ)



## 2年目・星野由季菜

今年度は、子供たちが前向きに人生を歩めるようにと、市内の中学校2年生に向けた「キャリア教育授業」の企画とサポートをしています。

「キャリア教育授業」では、学生が将来なりたい職業として挙げた、スポーツトレーナー、パティシエ、消防士や前向きに人生を歩むコツを教えてくれるキャリアコンサルタント、コミュニケーションコーチなど、計10名の講師陣を派遣しました。また、私自身は「長所探究」といったテーマでお話をさせていただきました。

学生からは「なりたい職業人の話を聞いてイメージができた」や「前向きに頑張ろうと思った」などの感想をいただきました。

また、授業実施後のアンケートでは「自分を好き」と回答する学生が授業実施前に比べて増えました。令和5年も、学生の希望を育む力になればと思います。



▲学生に問いかける星野



▲キャリア教育授業中の星野



▲キャリア教育授業で登壇された講師陣

## 2年目・谷部文香



▲取材中の谷部

今月号の広報「奥久慈いちご特集」にて、いちご農家さんへのインタビュー取材を担当させていただきました！

農家さんのいちごへの思いがたっぷりつまったインタビューをぜひご覧ください。

## 1年目・本田真美



▲畑の冬支度開始！

葉もの伝統野菜の収穫もそろそろ一段落し、畑はすっかり冬越しの装いをしています！令和5年は田畑を拡大し、イベントもいくつか開催予定！本年もどうぞ宜しくお願いします！

## 2年目・吉川勝



▲ストライダー教室の様子

令和4年11月27日（日）に、小さなお子様向けにペダルの無い自転車「ストライダー教室」を開催しました。

令和5年もサイクリングなどのスポーツによる地域活性化に取り組んでいきます。



協力隊 活動報告～Vol.63～【お問い合わせ】電話⇨0295-52-1111（地域創生課地域おこし協力隊）  
デザイン・編集 谷部文香 メール⇨sousei@city.hitachiomiya.lg.jp

## 三美地区で確認された 縄文時代草創期の陥し穴

今から約1万4千年前の縄文時代草創期、日光の男体山が二度にわたって噴火し、噴出した軽石が偏西風に乗って栃木県の中中部から茨城県の北部にかけて降下しました。1回目の噴火の軽石が赤褐色の今市軽石、2回目のものが黄色の七本桜軽石で、黒土層と関東ローム層の間に堆積していることから、旧石器時代と縄文時代を分ける鍵層となっています。通常、縄文時代の遺構は、黄色のローム面で黒土の落ち込みとして確認されますが、両軽石の降下地帯では、草創期の遺構に限り赤や黄色の軽石の落ち込みとして確認されるのが特徴です。

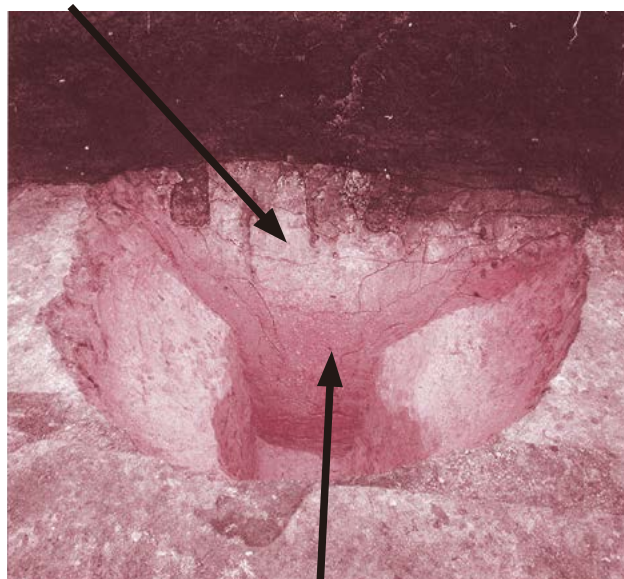
このような軽石を覆土(埋め土)とする陥し穴が初めて確認されたのは、1995年の茂木町の登谷遺跡の調査で、草創期の陥し穴には、楕円型と溝型の2種類があることがわかりました。楕円型は、長さ・深さともに1m強の楕円形の陥し穴で、谷底に集中して配置されることから、主にイノシシを狙ったものと推定しました。溝型は、長さ3m、深さ1m程の溝状の陥し穴です。落ちた獲物が挟まって動けなくなる仕組みのもので、その形や配置状況から、シカを狙ったものと推定しました。

三美地区の那珂川左岸の河岸段丘上では、近年の調査により滝ノ上遺跡と中崎遺跡で縄文草創期の楕円型陥し穴が確認されています。写真1は、中崎遺跡のSK172とした陥し穴の覆土の断面です。下半部には赤褐色の今市軽石を主体とする土、上半部には黄色の七本桜軽石が堆積しており、その上を黒土の自然堆積層が覆っていることから、黒土が形成される以前に埋没していた状況がわかります。写真2は、SK188の完掘状況です。長さ・深さともに1m強で、底部中央に穴が確認されました。この穴には、獲物を殺傷するために逆茂木を立てる場合と、獲物の動きを封じて生け捕りにするために束ねた篠竹をササラ状に立てる場合があり、縄文時代では後者が主流でした。縄文草創期の陥し穴は全国的にみても少なく、両軽石の降下地帯は、それが明瞭な形で確認できる数少ない地域なのです。

考古部会 協力員  
茂木町教育委員会  
埋蔵文化財専門員  
中村 信博

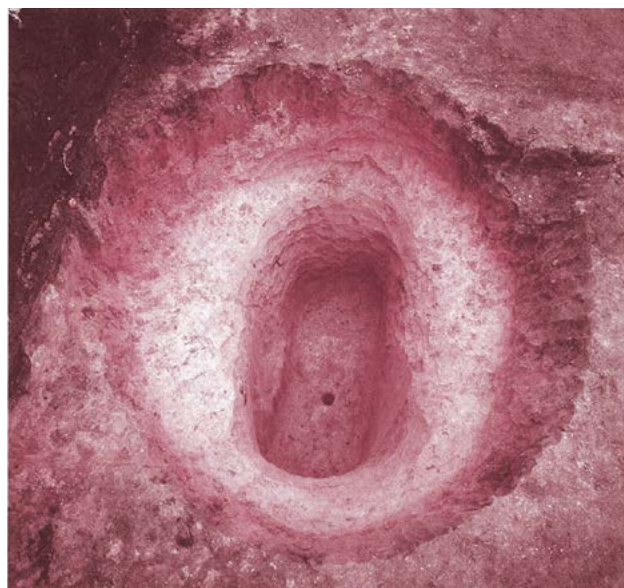


七本桜軽石



今市軽石

▲写真1：中崎遺跡 SK172 断面



▲写真2：中崎遺跡 SK188 完掘状況

### ■問い合わせ■

文化スポーツ課 文化振興グループ  
電話：52-1111(内線343)



## 食改さんのおすすめレシピ vol.33

食改さんのおすすめレシピを隔月で紹介しています。今月は体が温まる汁物の紹介です。



歯ごたえのある野菜をたくさんとれる1品です。よく噛んでゆっくり食べることで、満腹感が出たり、糖や脂肪の吸収をゆるやかにするので、食べ過ぎや肥満予防につながります。また、減塩のためには、汁物は1日1回がおすすめです。

### 貝だくさんピリ辛みそ汁

#### 栄養成分(1人分)

エネルギー	食塩相当量
120kcal	1.3g

#### 《材料》1人分

ごぼう	20g
人参	20g
れんこん	20g
大根	20g
生しいたけ	15g (1枚)
厚揚げ	30g
キムチ	15g
油	2g (小さじ1/2)
だし汁	180cc
味噌	6g (小さじ1)
小ねぎ	適宜

#### 《作り方》

- ①ごぼうは皮をむいて斜め薄切り、人参・れんこん・大根は皮をむいていちょう切りにする。しいたけは石づきを切り落として4～6等分に切る。
- ②厚揚げは1口大に切る。
- ③鍋に油を熱して①を炒め、火が通ってきたら、②の厚揚げとキムチを入れてさっと炒める。
- ④だし汁を加えて煮立ったらアクを除き、柔らかくなるまで煮る。
- ⑤味噌を溶かし入れたらお椀に盛り付け、ねぎをのせる。

## 環境インフォメーション

### 道路清掃活動(クリーン作戦)が行われました

12月8日に常陸大宮市建設業協会、12月20日に常陸大宮市北西部建設業組合で、市内道路を中心にクリーン作戦を実施しました。

ごみのない清潔で住みよいまちづくりをめざして、78人が活動に参加し、空き缶やペットボトル、紙くずなどのごみを回収しました。



■問い合わせ■ 生活環境課 生活環境グループ 電話：52-1111(内線114)

# そけい 鼠径ヘルニア（脱腸）とは



常陸大宮済生会病院  
外科消化器科医員 千葉 時七

鼠径ヘルニア（脱腸）とは、足の付け根（鼠径部）から腸や脂肪などの内臓が腹腔外に飛び出してしまった状態です。典型的な症状は、立ったり、力んだりしたときに腹圧がかかると足の付け根が膨らみ、横になったり、手で押し戻したりすると引っ込むことが多く、痛みを伴うこともあります。腸が飛び出たまま挟まって戻らなくなることを「嵌頓（かんとん）」といい、飛び出した腸の血流が悪くなって緊急手術が必要になる場合もあります。

## 鼠径ヘルニアの治療

手術で治す以外に鼠径ヘルニアの治療方法はありません。嵌頓のリスクや放置するとだんだん大きくなることもあるため、見つけた時点で手術をお勧めしています。

手術の方法はいくつかありますが、いずれの方法も脱腸をおなかの中に戻して腹壁の穴をふさぐことが目的です。当院では主に前方アプローチと腹腔鏡下手術を行っています。

### ①前方アプローチ

鼠径部に約5cmの皮膚切開をおいて腹壁の外側からメッシュという人工材料をあてて補強します。

### ②腹腔鏡下手術

おなかを二酸化炭素ガスで風船のように膨らませて、通常は3か所の小さな傷（臍に1cm、両わき腹に5mm）で手術を行います。メッシュを腹壁の内側からあてて補強します。

どちらの方法も治療効果は同等といわれており、患者様の要望や手術歴・持病・心肺機能などを踏まえて方法を検討します。

### 標準的な治療スケジュール

手術の入院期間は通常3～4日間程度です。

<手術前日> 午後入院

<手術当日> 手術は、片方約1時間～1時間半かかります。

腰の麻酔の場合は手術当日の夕方から、全身麻酔の場合は翌朝から水分をとっていただきます。

<手術翌日> 朝から食事が開始されます。

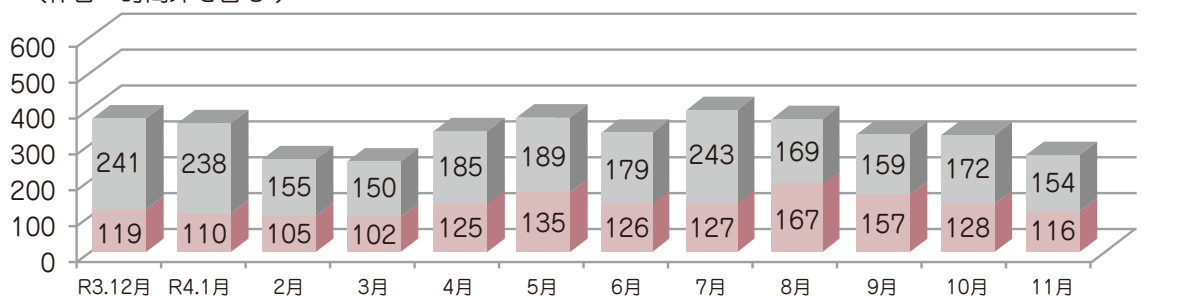
特に問題なければ手術翌日以降退院可能です。

病状経過には個人差があります。合併症があったときなどは、詳しく説明し適切な処置を行います。

脱腸かな？と思ったらぜひ当科外来でご相談ください。

※救急受け入れの人数を  
月別に表しています。  
(休日・時間外を含む)

常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況



## 泉の廃寺 光宗寺

常陸大宮市域には、かつて多くの寺院がありました。江戸時代前期の寛文年間（1661～1673）の時点で、常陸大宮市域には少なくとも200を超える寺院が存在したことがわかっています。しかし、徳川光圀や徳川斉昭が実施した寺社改革や、明治初期の廃仏毀釈によって、寺院の多くがその姿を失いました。現在は、地名やわずかな史料、伝承からその痕跡をうかがうことができますが、その実態については不明なことが多いです。今回は、その中から、泉地区にかつて存在した光宗寺について紹介していきます。

## ◇光宗寺の創立と歴史

婦命山源空院光宗寺は、泉字下ノ寺に所在した浄土宗の寺院です。現在は集合墓地となっていますが、境内には歴代住職の墓塔と菩提樹がわずかに現存することから、寺院跡であることがうかがえます。常福寺（那珂市瓜連）が作成した由緒書によると、当初は源空院という小寺でしたが、永禄10年（1567）に前小屋美作という人物が菩提寺として改修したとされており、院号に前身である「源空院」の名を確認できます。源空院の創建時期は不明ですが、墓地に所在する石塔（後述）から、少なくとも戦国時代には存在していたものと考えられます。また、同じく常福寺が作成した「諸末起因」によると、開山には常福寺9世の空誉玉泉上人が携わったことが伝えられています。江戸時代の光宗寺については記録が存在しないため、詳細な歴史を知ることは難しいですが、少なくとも寛文3年（1663）の時点で105人の檀那が所属していたことが由緒書から

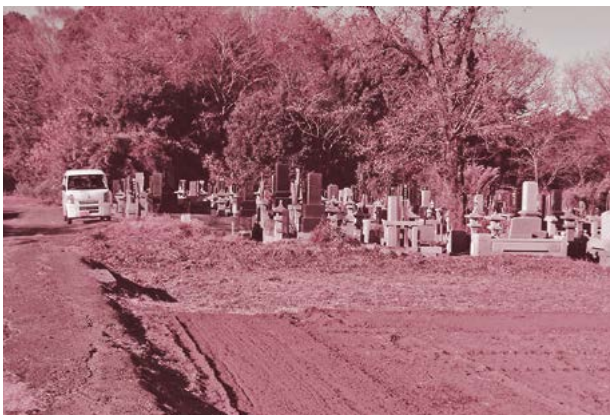


写真1 光宗寺跡地（泉地区）



写真2 光宗寺由緒書（常福寺蔵）

確認できます。しかし、一方で「四年以上無住故」とあることから、住職不在の時期も存在したようです。墓塔から、延享2年（1745）には寺院が所在していたと確認できますが、安政2年（1855）の記録には光宗寺の記述が見られないことから、この時点で既に破却され、廃寺になっていたと考えられます。

## ◇光宗寺と前小屋氏の関係

光宗寺を再興した前小屋氏は、前小屋城を拠点とした佐竹氏の一族です。小場氏4代当主である義実の子・義広が前小屋村（泉の旧地名）に居住して前小屋氏を称したのが始まりとされており、その時期は15世紀後半にさかのぼると推測されます。以来、慶長7年（1602）に秋田へ下るまで約100年もの間、前小屋村の領主として活動しました。由緒書に記された「前小屋美作」なる人物の詳細は不明ですが、光宗寺には前小屋氏一族の位牌と墓塔が所在したことが「諸末起因」に記されています。位牌については所在不明となっていますが、石塔に関しては墓地の一角に中世五輪塔・宝篋印塔の一部が所在しており、中には15世紀の製作と見られる事例も確認されています。前小屋義広が前小屋村に居住したとされる時期と石の造立年代が近いことから、前小屋氏に関連する石塔である可能性が高く、同氏の菩提寺として営まれていたことがうかがえます。

## 【参考文献】

- ・大宮町史編さん委員会編『大宮町史』昭和52年
- ・瓜連町史編さん委員会編『瓜連町史』昭和61年

(高橋拓也)

## ■問い合わせ■

文書館 ☎52-0571



## 食事時の窒息事故に注意 !!

1月になると、餅をのどにつまらせるなどの窒息事故が多くなります。全国的にも、毎年1月は窒息死亡者数が1,300人を上回り、そのうち65歳以上が9割を占めています。餅などの弾力があり、咀嚼そしやくが必要な食べ物を食べる時は十分に注意しましょう。

### 窒息事故を防ぐために注意すること

- ・食べる前に水やお茶を飲む
- ・ひとりで食べない
- ・おしゃべりは食べ物を飲み込んでから
- ・一口を小さく、ゆっくりよく噛む
- ・酒を多量に飲みながら餅を食べない

## 異物がのどに詰まってしまった時の対処

のどに異物が詰まると、急に咳き込んだり、突然言葉を発せなくなったり、のどを両手でつかむようなしぐさ「窒息のサイン(チョークサイン)」をします。のどに異物が詰まってしまったのか、意識はあるかを確認しましょう。そして、すぐに119番通報をし、異物を取り除くようにしましょう。



▲窒息のサイン  
(チョークサイン)

## 救急車を待つ間に異物の除去を！

### ○積極的に咳を促す

呼吸時に「ヒューヒュー」など異音がする場合は、異物が部分的に詰まっている場合があります。異物が取れるまで咳をするように促しましょう。

### ○背部叩打法と腹部突き上げ法(ハイムリック法)

完全にのどが詰まり、窒息になってしまった場合の対処法として、背部叩打法と腹部突き上げ法(ハイムリック法)の2つがあります。

#### 1. 背部叩打法

背部叩打法は、左右の肩甲骨の中間を手の付け根で上部へ突き上げるように叩きます。5回程度連続して叩いた後に確認し、異物が除去できるまで、その動作を繰り返してください。



▲背部叩打法

#### 2. 腹部突き上げ法(ハイムリック法)

のどに詰まらせている人の背部に立ち、おへそのやや上(みぞおちの下方)に親指を腹部側にあてて握りこぶしをつくり、片方の手を添えて、すばやく上方へ突き上げるように圧迫します。臓器を損傷している可能性がありますので、実施後は必ず病院に受診しましょう。

※妊婦・1歳未満児には行えません。



▲腹部突き上げ法  
(ハイムリック法)

## 反応がなくなってしまった場合は、すぐに心臓マッサージ！

「発見した時から反応がない」、「異物除去を実施中に反応がなくなってしまった」というときには、ただちに通常の心肺蘇生を開始します。心肺蘇生を行っている途中で、口の中に異物が見えた場合は、異物を取り除きます。

## 暖房器具による火災に注意しましょう

空気が乾燥するだけでなく、暖房器具による火災が発生する件数が増加する季節です。総務省消防庁発行の「令和3年版消防白書」によると、令和2年度中の住宅火災の原因は、たばこ、電気器具、ストーブといったように、1年を通しての出火原因であるたばこや電気器具（冬に使用するものも含まれる）に加えて、暖房器具がトップ3にランクインする形になっています。新年を新たな気持ちで迎えた中で、より一層気持ちを引き締めて火災予防に努めましょう。

### 住宅火災出火原因ランキング (令和2年)

1位 たばこ

2位 電気器具

3位 **ストーブ**

冬場の使用がメインのストーブが、年間の出火原因3位にランクインしており、1年の間に使用時期が限られているにも関わらず、出火件数が多いことがわかります。

## ストーブによる火災を防ぐために

ストーブによる火災は、少しの注意で防げるものがほとんどです。次のポイントに注意して、火災から身を守りましょう。

- 寝る前、出かける前にはストーブの電源を切る
- カーテンなどの燃えやすい物の近く、物が落下するおそれのあるところで使用しない
- ストーブの上で洗濯物を干さない
- 石油ストーブは、火を消してから給油する

## 御前山ビオトープ周辺の植物等

山野に生える多年草です。雄株と雌株は別の株をつくります。雄ばなの穂は上向きに立ち上がり、雌ばなの穂は写真のように垂れ下がります。果実は下向きにつき、平らなまゝい翼が3個あります。地下の芋は同じ芋が1年ごとに大きくなっていくわけではなく、春に古い芋の先に別の新しい芋ができ、古い芋から養分を吸収して大きくなり、毎年古い芋より大きな芋を作るそうです。



(ヤマノイモ科 ヤマノイモ属)  
(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

## Instagram Photo gallery

Instagramで「#常陸大宮市」「#常陸大宮」「#おおみやファン」のタグで投稿された素敵な写真をご紹介します！



@hanadora\_さん撮影  
【平山橋から撮影した久慈川】



@bup1984さん撮影  
【初日の出×水郡線×柴犬】

常陸大宮市公式Instagramでは、リポスト・広報紙掲載企画実施中！  
市内の風景、イベント、何気ない日常など、ハッシュタグ「#常陸大宮市」「#常陸大宮」「#おおみやファン」いずれかを付けて投稿すると、市Instagram や広報紙で紹介されるかも！



◀企画詳細はこちらから



### 常陸大宮市の人口

(1月1日現在・推定常住者)

総人口 37,900人 世帯数 15,647世帯  
(男 18,748人 女 19,152人)

### 広報 常陸大宮 1月 第220号

発行日 令和5年1月25日  
発行/常陸大宮市 編集/企画政策課  
〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6  
TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010  
E-mail kouhou@city.hitachiomiya.lg.jp  
URL https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/

